

【年末年始のお知らせ】
仕事納め 12月28日(木)
仕事初め 1月5日(金)
年末の事務処理は12月27日(水)まで
新年の通常業務は1月6日(土)より

建設長崎

December
No.630
2017年12月15日
1部20円 組合員の購読料は組合費に含まず
印刷●株昭和堂 TEL 095-821-1234

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 http://www.kensetunagasaki.org/ 発行責任者●田上一郎 編集人●若杉孝雄



全国より3,415人の仲間が集まる

当日は全国の代表団による各省庁への要請行動と、大会終了後には東京駅までのデモ行進も行いました。また、大会開催に先立ち地元選出の国会議員に対して要請行動も行いました。

建設長崎から、船津執行委員長、本多常秋(中央支部)宮野喜吉(佐世保中央支部)両本部執行委員、北村顧問、長建国保より佐藤圭介常務理事、池田剛事務局長が参加しました。

はじめに、主催者挨拶では十月に行われた全建総連大会で、新しく就任した吉田三男中央執行委員長が大会のお礼に続けて、「組合の先頭に立って闘う。補助金獲得は最優先の課題である。各省庁交渉に向けて、全力で取り組みたい」と挨拶。その後、来賓として出席の各党(自民・立憲民主・

公明・希望・民進・共産・自由・社民)の代表者より諸要求実現に向けて協力する決意と連帯の挨拶がありました。

基調報告で、全建総連の勝野書記長は、「建設産業の存続は、その担い手の確保にかかっており、建設労働者・職人の賃金・単価の引き上げや、社会保険の適正な加入を保障する法定福利費の確実な支給は、緊急かつ最重要の課題となっている。建設国保の育成・強化は、全国の建設労働者・職人共通の願いであり、現行補助水準の確保に向けて、仲間とともに行動に参加していきます。」と述べました。

全建総連は十一月二十二日、東京「日比谷野外音楽堂」で「賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会」を開催。全国四十九県連組合から三五一五人が参加しました。(建設長崎からは六人が参加)大会では、賃金・単価引き上げと合わせ、国保組合への助成をはじめとした各省庁予算を確保するための取り組みを、参加者全員で誓い合いました。



大会に参加した本多執行委員(左)と宮野執行委員

11・22
総決起大会

現場労働者の賃金

大幅引き上げをかちとろう！

―建設国保の育成・強化を―

一危険みつけてみんなで改善 意識高めて安全職場一



一現場での災害撲滅を改めて認識する大会となりました。一

労働安全推進大会

(長崎・県央地区)

労働安全功労賞

●記念講演―「木造住宅建築工事における安全対策」

十一月七日(火)午後七時から、セントヒル長崎にて長崎・県央地区の労働安全推進大会が開催されました。この大会は、県北地区と隔年おきに開催する大会で、

今年度は長崎・県央地区で開催され、全体で九十六名の参加者で行われました。里副委員長の開会挨拶、労働安全功労賞の授与、安全対策について講演がありました。労働局によるアクションZERO運動も五年度の最終年度にあたり、現場での墜落防止や更なる安全の取り組み強化を要請されました。その後、各支部より推薦された一〇事業所に安全功労の表彰が行われ、北村支部長(大浦支部)より安全の誓いが宣言され、参加者の拍手で採択されました。最後に伊藤副委員長

の挨拶で閉会となり、現場での災害撲滅を改めて認識する大会となりました。大会で表彰された安全功労賞の受賞者は下記の事業所です。

- | | |
|-------------|--------------|
| 山廣工務店 | 山本建設 |
| 山下 廣造(中央支部) | 山本 秀夫(市南支部) |
| 株南翔クレーン | 永田工務店 |
| 田原 洋司(大浦支部) | 永田 義浩(東長崎支部) |
| (有)山本建設 | 川瀬技建 |
| 山本 | 川瀬 末夫(浦上西支部) |
| 山崎 徹(浦上東支部) | もとき塗装 |
| 藤永建設(株) | 山崎 信幸(西彼支部) |
| 森 信幸(西彼支部) | 山本住宅建設 |
| 山本 茂(諫早支部) | 山本 大安建設 |
| 大安建設 | 大安和一郎(大村支部) |
| (有)松田組 | 松田 年市(島原支部) |

長建国保よりお知らせ

～来年3月保険証の更新時に就労状況調査を実施します～



職種の再確認調査

長建国保では、厚生労働省の指導に基づき長建国保加入の全組合員を対象に加入資格(職種)の再確認調査(組合員就労状況調査)を二年に一度実施しており平成三十年がその調査の年にあたります。

この調査では、後日郵送にてお送りします調査表にご記入いただくとともに、建設業に従事していることを証明する書類(以下「証書」といいます)を提出していただきます。

証明書類は保険証切替時に提出を

調査表と証明書類は、保険証の切替(更新)の際に提出いただきます。組合員の皆様には、切替当日までに該当する証明書類(登記簿謄本や確定申告書等)、就労証明書を、ご準備いただきまして三月の保険証の切替当日にお持ち下さい。

尚、更新当日に証明書類をお持ちでない場合は、保険証の切替を受けることができませんのでご了承下さい。

証明書類未提出者は資格喪失

この調査に応じない方、証明書類を提出しない方は、厚生労働省の指導により無資格加入者とみなし組合規約に基づき保険証を返還の上、資格喪失となります。

また、建設従事者として加入後、建設業を廃業または転職された方は、速やかに組合各支部へ届出下さい。組合員の皆様には調査実施にあたりご理解とご協力をお願いいたします。

調査等に関しましてご不明な点は組合所属支部または長建国保までお問い合わせ下さい。

親子で身近に触れて体験



▲万能腰掛けづくりに挑戦

ものづくりの楽しさを体験する「技能まつり二〇一七」が十一月五日長崎市浜の町ベルナード観光通りで開催され、県内の各技能士会や長崎工業高校など十五の団体が出展しました。

県職業能力開発協会が主催となり、若者のものづくり離れが見られる中、身近に触れて体験することで「ものづくり」の魅力を伝える事を目的に毎年行われています。

建設長崎からは、長崎技能士会として、長崎市内支部の組合員さんに参加協力頂きました。体験として「万能腰掛け」の作成、また普段は間近に見ることが出来

ない丸柱模型や柱の継手・木材の展示などを行いました。

参加した子どもらは、組合員の指導を受けながら、慣れない手つきで金槌やインパクトドライバーを使用したの技能体験に取り組みました。

技能士会の北村会長は、「建設技能者が不足している今。若い人たちが、このような体験を通じて技能士と交流することで、ものづくりに興味を持ってもらえたら」と話していました。

各ブースとも大変好評で、多くの親子連れの方に体験頂き、有意義な一日となりました。

11/5 技能まつり 2017

「若い人へものづくりの魅力を伝えたい」

諫早支部

今年も賑やかに楽しく奉仕活動



▲諫早よらんね祭り

少し肌寒さを感じる十一月初の日曜日、諫早支部では今年も支部の役員さんや森山分会の会員さんを中心に参加して頂き、「森山よらんね祭り」に協賛して住宅デーを開催しました。

会場に着くと、まずは準備作業で大賑わい。テント設営や宣伝用の足場組み、包丁研ぎの作業、台設置など、ワイワイ楽しそうに手際よく行っていました。

準備が終わると、全員で一日ケガの無いように、お神酒で清めてから作業を開始。包丁研ぎは例年通り受付開始早々から着実に客足が伸び、昼の受付終了までコツコツ本数を伸ばしました。

主婦会の皆さんにもお昼の準備やティッシュ配布、受付等のご協力を頂きました。

今年には打ち上げの会場を支部事務所に変更し、住宅デーの反省と労をねぎらっていました。

準備が終わると、全員で一日ケガの無いように、お神酒で清めてから作業を開始。包丁研ぎは例年通り受付開始早々から着実に客足が伸び、昼の受付終了までコツコツ本数を伸ばしました。

主婦会の皆さんにもお昼の準備やティッシュ配布、受付等のご協力を頂きました。

今年には打ち上げの会場を支部事務所に変更し、住宅デーの反省と労をねぎらっていました。

各支部で 秋の住宅デー開催



中央支部

ここ数年で一番の実績

十一月三日（金）文化の日、中央支部茂木分会では協賛して住宅デーを開催しました。

当日は天気にも恵まれ、朝九時の受付開始に向け、テント等の準備作業を行っている段階から、包丁を手にした皆さんの長い行列ができていました。

漁師町ならではの重量級の出力包丁をはじめとした、研ぐ前の包丁が、九時の時点で五十本ほど並び、研いでも研いでも、次から次へと昼前までお客さんの列は途絶えず、受付の主婦会の皆さんも磨き手の組合員の皆さんも休憩なしで頑張ります。ようやく一段落できたのが、午後二時頃でした。



▲茂木ふれあい祭り

会場となった茂木フェリー乗り場駐車場には、お祭り舞台を中心に地元の特産品等を始めた各種出店が並んでいて、茂木分会では、恒例となっている包丁研ぎ・まな板削り

当日は天気にも恵まれ、朝九時の受付開始に向け、テント等の準備作業を行っている段階から、包丁を手にした皆さんの長い行列ができていました。

漁師町ならではの重量級の出力包丁をはじめとした、研ぐ前の包丁が、九時の時点で五十本ほど並び、研いでも研いでも、次から次へと昼前までお客さんの列は途絶えず、受付の主婦会の皆さんも磨き手の組合員の皆さんも休憩なしで頑張ります。ようやく一段落できたのが、午後二時頃でした。

佐世保東支部

毎年の連続開催が大切

佐世保東支部では、十一月五日（日）に「わくわくふれあい市」で、十二日（日）に「どろんこの里」にて、それぞれ住宅デーを行いました。

わくわくふれあい市での開催は五年連続となり、住民の方には十分に浸透しているようで、受付時間より前に包丁を持ち込まれたこともあり、予定よりも早く作業を始めました。

当会場は、直売所ということで朝早くから賑わいを見せており、買い物客をさるのかを見に来られ、包丁を取りに帰る方もいました。

天候には恵まれましたが、会場が日陰なこともあり肌寒い中での作業となりましたが、終了後は主婦会手作りの温かい豚汁を頂き冷えた体を温めました。

波佐見の直売所「どろんこの里」での開催は、昨年に引き続き二年連続になります。波佐見町での開催ということもあり波佐見分会の方を中心に参加していただきました。

二回目ということですが、店の方に「今年も包丁研ぎは開催されるのか」と尋ねられた方もいたそうで、住民の方に少しは浸透しているのかなと思います。今年は来場者・包丁の数も昨年と比べて増加しており継続して開催する大切さを感じました。

今年の住宅デーは、二日間合計して百二十八名、包丁が二百七十二本集まり、住宅デーを来年以降も続けて行き、組合員と地域の方との交流を深めて行きたいです。

十一月五日（日）に「わくわくふれあい市」で、十二日（日）に「どろんこの里」にて、それぞれ住宅デーを行いました。

わくわくふれあい市での開催は五年連続となり、住民の方には十分に浸透しているようで、受付時間より前に包丁を持ち込まれたこともあり、予定よりも早く作業を始めました。

当会場は、直売所ということで朝早くから賑わいを見せており、買い物客をさるのかを見に来られ、包丁を取りに帰る方もいました。

天候には恵まれましたが、会場が日陰なこともあり肌寒い中での作業となりましたが、終了後は主婦会手作りの温かい豚汁を頂き冷えた体を温めました。

波佐見の直売所「どろんこの里」での開催は、昨年に引き続き二年連続になります。波佐見町での開催ということもあり波佐見分会の方を中心に参加していただきました。

二回目ということですが、店の方に「今年も包丁研ぎは開催されるのか」と尋ねられた方もいたそうで、住民の方に少しは浸透しているのかなと思います。今年は来場者・包丁の数も昨年と比べて増加しており継続して開催する大切さを感じました。



▲わくわくふれあい市会場



▲どろんこの里会場

毎年楽しみにしている友の会



中央総支部・浦上総支部

十一月十四日(火)午後六時から中央総支部・浦上総支部合同で毎年恒例の「プラチナ友の会」をサンプリエール長崎で開催しました。

プラチナ友の会は、年に一度、七十才以上の先輩組合員さんを対象に顔を合わせて、互いに親睦を深める事を目的に行っており、当日は本部四役・支部長も参加して頂きまして、懇談しています。

最初にお酒を飲んで收拾がつかなくなる前に記念撮影。安心してお酒を飲む準備を整え懇親会にはいりました。

今回からプラチナ友の会に初めて参加して頂いた方や、毎年参加を楽しみにしている方など、久しぶりに会った仲間とお酒も大いに進んでいました。

楽しい時間もあったと言う間に過ぎ、改めて「来年もまた参加して会おう」と名残を惜しみつつ盛会裏の内に終了しました。

大村支部 グラウンドゴルフ大会

～総勢74名、好・珍プレーに大いに賑わう～



十一月十九日(日)、午前九時より大村小学校グラウンドにて、グラウンドゴルフ大会を開催致しました。

組合本部より船津委員長、伊藤副委員長、田上副委員長、協会より藤枝事務局長、来賓として村上信行市議にもご出席頂き、総勢七十四名と大変多くの参加者を迎えての開催となりました。

開会式の後、船津委員長に始球式を行って頂いてから、競技スタート。ショットホールは最短で十五m、ロングホールは最長五十mあり、力の加減がなかなか難しいようで、打球がホールポストを勢よく通過していく人もいれば、ロングホールなのに加減を誤って、ちょこんとしか打球が進まない方もいて、各ホールで笑みがこぼれていました。

競技終了後は支部へ戻り、主婦会特製の豚汁で冷えた身体を温めながらの打ち上げを行いました。スコアの集計が完了後、飛び賞やゾロ目賞など多くの賞を揃えての表彰式を行い、分会対抗戦の優勝は彼岸分会チームでした。(終了後に、また打ち上げを行ったそうです)

個人戦の優勝者は主婦会の方で、分会対抗戦では主婦会チームが三位も獲得しました。

大村支部では今回のグラウンドゴルフと支部旅行会を隔年で交互に開催しています。どちらも楽しい行事となっていますので、参加頂ければと思います。(山本)

大浦支部 旅行会

～楽しく親睦深める忘年旅行会～



十一月十九日(日)～二十日(月)の日程で、福岡・大分方面への親睦旅行会を男性十二名・女性四名の総勢十六名で開催しました。

参加者全員を乗せたバスが発出し挨拶が終わると、お参りのあと住職様より、

「毎日周りに感謝の気持ちを持ち、幸せと朝晩口に出してこれからの人生を生きましよう」とありがたいお話を頂き、心なしか皆の顔も神々しくなったように見えたような。次はキリンビール工場見学。製造工程などの見学のあと、待ちに待った試飲の美味しかったこと一喉と心を潤しました。バス移動では適宜トイレ休憩をとりながら、湯布院散策のあと、別府のホテルへ到着です。美味しい食事とカラオケで大いに盛り上がり、温泉にも入って楽しい一日でした。

二日目は、宇佐八幡宮を参拝。パワースポットを見つたり、職業柄、本殿の構造など興味の尽きない様子でした。次に青の洞門、深耶馬溪と紅葉観光で目の保養を済ませ帰路につきました。

今日は歩いての観光が多かったためか、男性陣はお疲れのようでしたが、主婦会パワー満開のカラオケを楽しみながら無事長崎着となりました。皆で楽しく更なる交流を深める事ができた二日間でした。

(鳥田 愛子)

佐世保北支部 旅行会



～珍光景？噴火の前兆！！～

今回の旅行は、霧島温泉を宿泊先に据えた行程を予定していましたが、新燃岳の噴火があったため影響を考慮して急遽宿泊先を指宿に変え行程も大幅な変更となりました。

出発の滑り出しはそこそこ、三十分毎のトイレレタムに、バスガイドさんからツッコミを入れられながら、一路鹿児島を目指します。

道中なんやかんやありまして、旅館で一服、一風呂、一杯と段取りよくこなして参りました。

翌日はフェリーに乗って桜島へ。

普段見慣れないモクモクの噴煙は前兆だったようですね。本当に珍しい時に行っていたようです。

帰りもなんやかんやありまして、無事帰って参りました。

支部長曰く、「なんやかんやで楽しかったです」との事でございます。

今回は、噴火が始まり、噴火で終わる。そんな旅行でございました。皆さんお疲れ様でした。

スで事の真相が判明する事になりました。

噴火して参りました。夜の十時頃に。オレンジ色の噴煙は前兆だったようですね。本当に珍しい時に行っていたようです。

帰りもなんやかんやありまして、無事帰って参りました。

平成29年度国土交通省補助事業「住宅建築技術高度化・展開推進事業」長崎県住宅省エネルギー技術施工技術講習会

○開催日：平成30年1月14日(日) 受付 8:10 講習時間 8:30～12:50まで CPD 認定講習 4 単位

○会場：建設長崎本部会館 2 階 会議室 (長崎市城山町17-58) ※募集人員 30人

※平成29年度「地域型住宅グリーン化事業」の補助対象住宅を施工する事業者は、必ず一人以上は住宅省エネルギー技術講習会を受講した修了者が所属している必要があります。

※平成24年度～28年度に施工技術講習会を修了された方も、新しい省エネ基準に基づき説明しますので、是非受講して下さい。

※長崎県住宅省エネルギー技術設計講習会とは別の講習です。両方受講することが設計・工事監理・現場管理に有用です。

お申込方法
住宅省エネルギー技術講習会ホームページ <http://www.shoene.org/>
又は FAX にてお申し込みください。

※お申込み締め切りは、開催日の3日前となります。

※CPD 登録をしている方は、登録カードをご持参ください。

主催／長崎県ゆとりある住まいづくり推進協議会事務局
(一財)長崎県住宅・建築総合センター内)
お問い合わせ先／TEL. 095-825-6944
FAX. 095-825-6947

～技能がより尊重される
社会を目指して～



第四十六回長崎県技能士大会が十一月十五日、長崎市のホテルニュー長崎にて開催されました。技能労働者の雇用の安定と技能の向上をめざすとともに、県民がものづくりへの理解を深め、技能や技術を大切にする気運を高めていくことを目的に、毎年十一月の職業能力開発促進月間に合わせて開催。

大会は長崎県、県職業能力開発協会、県技能士会連合会の主催で行われました。主催者を代表して県産業労働部雇用労働政策課の山下和孝政策監が「近年、若者のものづくり離れや熟年技能労働者の高齢化が進む中、ものづくりの現場を支える技能や技術をいかにして次の世代に伝えていくかが喫緊の課題となっている。関係団体と連携し、技能がより尊重される社会をめざしたい」と知事のメッセージを代読。

大会では各種表彰が行われ「技能検定功労者」として高石豊晴さん（建築大工・諫早支部）が県職業能力開発協会長表彰を受けました。高石さんは「思ってもいない賞をいただきました。体が動く間は頑張りたい」と受賞の喜びを述べました。

受賞式の後、平成二十九年度前期技能検定の合格者に対して、一級技能士一二〇名、二級技能士一四九名、三級技能士一三六名に合格証が授与されました。

第四十六回長崎県技能士大会が十一月十五日、長崎市のホテルニュー長崎にて開催されました。技能労働者の雇用の安定と技能の向上をめざすとともに、県民がものづくりへの理解を深め、技能や技術を大切にする気運を高めていくことを目的に、毎年十一月の職業能力開発促進月間に合わせて開催。

技能検定功労者
高石 豊晴さん（諫早）

第四十六回技能士大会



2017年を振り返って



1月 旗開き



- 本部旗開き（5日）
- 各支部旗開き（10～20日）
- 税務署交渉（長崎20日、佐世保・平戸24日、諫早・島原25日）
- 本部主婦会新年の集い（25日）
- 中小建設業協会新春交流会（27日）

2月 長建国保組合会



- 所得税受付（6～28日）
- 各支部賃金委員会（16～24日）
- 長建国保第94回組合会（28日）

3月 総決起集会



- 県土木部・産業労働部要請行動（10日）
- 所得税一括申告（14日）
- 消費税受付（15～24日）
- 建設長崎3・21総決起集会（21日）

4月 ソフトボール大会



- 29年度特定健診スタート
- 足場作業主任者技能講習（20～21日）
- 各支部対抗ソフトボール大会（23日）

5月 メーデー



- 第88回長崎地区メーデー（1日）
- 労働保険年度更新受付（16～6月14日）
- 九地協青年部交流集会（21～22日）

6月 青年技能競技大会



- 九地協企業交渉（8～9日）
- 青年技能競技大会（11日）
- 全建総連全国主婦会交流集会（15～16日）
- 青年部大会（20日）

7月 定期大会



- 全建総連中央総決起大会（6日）
- 全建総連第24回全国青協交流会（9～10日）
- 主婦会総会（12日）
- 第72回定期大会（16日）
- 中小建設業協会第5回定期総会（21日）
- 長建国保第95回組合会（27日）

8月 原爆殉難者慰霊祭



- 原爆殉難者慰霊祭（8日）
- 諫早市・県央振興局要請（23日）
- 佐世保市要請（30日）
- 各支部大会

9月 支部大会



- 全建総連青年技能大会（19～21日）
- 各支部大会
- スーパーハウジングフェア in 佐世保（30日）

10月 スーパーハウジングフェア



- スーパーハウジングフェア in 佐世保（1日）
- 本部主婦会日帰り旅行（11日）
- 長崎県・長崎市要請行動（12日、17日）
- 足場作業主任者技能講習（12～13日）
- 全建総連第58回定期大会（25～27日）

11月 労働安全大会



- 技の祭典！技能祭り2017（5日）
- 長崎・県央地区労働安全大会（7日）
- 全建総連中央総決起大会（22日）
- 大村市長要請行動（24日）
- 規矩術講習会（26日）

12月 国保予算要求行動



- 国保予算要求行動
- 省エネ施工講習会（17日）
- 木造建築物組立等作業主任者技能講習（20～21日）
- 仕事納め（28日）